

# 丸井織物

# 16年12月期 売上高100億円に

## 中期計画、軽量素材を拡販

丸井織物（石川県中能登町）は、2012年12月期から5カ年の中期経営計画を策定した。生地をアパレルに直接売り込む自主販売の比率を高め、人気の高い軽量素材を中心に国内外で拡販する。16

年12月期の売上高を100億円に引き上げた考えだ。

宮本徹社長が北國新聞社の取材に答えた。今期（11年12月期）の売上高は約60億円で、前期よりも7%ほど増える見通し。ダウンジ

ヤケットに

使われる軽量素材の売上高が20%増えるという。

中期計画では、スポ

ーツ、カジュアル分野を重点市場とし、自主販売の比率を現状の15%から30%に高める。年間5億円程度の設備投資を行い、新製品を順次投入していく。来

期は織機を150台増やし、1200台を超える態勢になる。

主力の軽量生地は、従来のダウンジャケットだけでなく、コート類に写真にも用途を広げて営業を強化する。宮本社長は「新興国の技術レベルが上がり、似通った軽量素材が市場に出回り始めた。用途を広げ、独自の強い製品を開発していく」と話した。円高については、糸の海外調達を増やすなどして対応する。

